

市内の各小学校では、学習指導要領のねらいを受け、「子どもたちの生きる力をはぐくむ」さまざまな教育活動を行い、特色ある学校づくりを進めています。
「教育のひろば」では、家庭・学校・地域がお互いを理解し協力しあえる姿を目指し、教育活動の紹介をします。今月号は大鷹沢小学校です。

白石市立大鷹沢小学校

☎25-3714 ☎25-4052 URL: <http://www.ootakasawa-e.myswan.ne.jp/> Eメール: chief@ootakasawa-e.myswan.ne.jp

教育目標

生きる力を持った人間の育成を目指し、自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、心身共に健康な児童の育成に努める。

めざす子ども像

自ら学び、共に歩み続けるたくましい子ども

- 進んで勉強する子ども
- 思いやりのある子ども
- 喜んで仕事をする子ども
- いっぱい運動する子ども

今年度の重点事項

- 「基礎・基本の定着」
- 「読書活動の充実」
- 「体験・交流活動の推進」
- 「いきいき生活の推進」

特色ある教育活動



▲たてわり活動の一つ「運動会」頑張れ、頑張れ、青組！

●「わくわくタイム」

毎日、業間の時間にマラソンに取り組んでいます。学年ごとに準備運動をしてマラソンの音楽が終わるまで(10:15～10:25)目標に向かって走ります。

●「読書活動」

毎朝10分間(8:15～8:25)全校一斉に読書をしています。学校生活は、この朝のシーンとした時間から始まります。高学年になると、いつも机の中に読みかけの本が入っています。

また、ボランティアの方々が読み聞かせをしてくださる日があり、とても楽しみにしています。

●「たてわり活動」

1年生から6年生が4つの色(赤、白、黄、青)に分かれて6年生のリーダーを中心に1年間活動をしています。運動会、竹馬大会、長縄跳び大会、除草・清掃活動です。6年生のリーダーは低学年の憧れです。

●「ノーテレビ、ノーゲームデー」

毎週水曜日に設定しています。話し合って曜日を代えているご家庭もあります。始めたばかりですが、健康な心と体を育てる取り組み(「いきいき生活の推進」)の一つとして取り組んでいます。

●「家庭学習のすすめ」

本校では家庭学習を「自学」と称し、繰り返し学習、家庭学習の習慣化を目指して取り組んでいます。「自学の手びき」を各家庭に配布し、家庭学習の意義や学年ごとにめやすを示して、ご家庭の協力をいただいているところです。

●「食堂給食」

大鷹沢小学校には、食堂があり、毎月1週間、2学年ずつ一緒に食べています。10月は、1年生と6年生でした。たてわりの色ごとに、残さず食べようと声を掛け合いながら、楽しく食べていました。



▲みんなで食べると楽しいなあ！

地域に学ぶ

「竹」

大鷹沢は竹林が多い地域です。そこで、3年生の総合学習の授業で「竹」を取り上げて学習しています。今年は、竹の子掘りから始まって、たけのご料理、竹の楽器づくり、竹の遊び道具づくりに挑戦しました。講師は、地域の方々です。

「団七踊りの継承」

地域に伝わる話(宮城野と信夫の姉妹の物語)を踊りにしたのが「団七踊り」です。3人1組で踊ります。毎年6年生が4年生に教え、引き継いでいきます。

「サナトリウム訪問」

毎年、4年生が訪問しています。合唱や合奏の披露、肩たたきなどをしながらお年寄りの方々と交流します。

「大鷹沢保育園との交流」

5月には来年度入学する子どもたちを運動会に招待します。2月には1年生が招待してゲームをしたり、学習の様子(鉄棒や竹馬、縄跳び)を見せたりします。



▲おばあちゃん、気持ちいい？

「あいいうえおか」運動を行っています。

- 「あ」…朝ごはん、しっかりと！
- 「え」…栄養バランス
- 「い」…衣服の調節をしよう！
- 「お」…おやすみ！すいみんたっぴり
- 「う」…うがい、てあらいわすれずに！
- 「か」…換気ですいつもきれいな空気

「学校の通信簿」の継続実施

- 年に1回、保護者の皆様に教育活動などについて
- の評価をしていただきます。

協力を惜しまない保護者、地域の方々にささえられています。これからも、教職員が心を合わせ、「子どもに目を向け、子どもに声をかけ、子どもに心をそそぎ、子どもから目をそらさない教育、そして、子どもを見限らない教育」を推進していきます。

特に、今年度は、「いきいき生活の推進」(基本的生活習慣の実践化を図るため)、「自学の推進」(基礎・基本の定着や家庭での学習の習慣化を図るため)を重点項目に取り上げ、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をいただきながら進めているところです。今後とも、本校の教育活動に対するご支援をよろしくお願い致します。

自治宝くじコミュニティ助成事業特大号 第2

やる気応援情報掲示板



生涯学習課
☎22-1327

自治宝くじコミュニティ助成事業 ～コミュニティの健全な発展が図られています～

(財)自治総合センターによる宝くじの受託事業を財源とした、平成18年度自治宝くじコミュニティ助成事業の助成金を受けて、地域づくりのためにさまざまな整備を行いました。

平成18年度 助成団体名とその助成額・事業内容一覧

団体名	助成額	事業内容
亘理町自治会	150万円	山車の修繕、祭礼用垂れ幕、ちょうちん、はんでん
白石地域振興連合会	250万円	ハイビジョンテレビ、DVDプレーヤー、DVDレコーダー、DVDビデオカメラ
東益岡青年会	190万円	大太鼓、小太鼓の修繕、ばち
西益岡自治会	210万円	太鼓山車
柳町自治会	250万円	みこし、はんでん
小原地区活性化推進協議会	220万円	除雪機、物置、家形テント、ワイヤレスアンプ、紙芝居、会議用テーブル、折り椅子
城北コミュニティ推進協議会	100万円	液晶ハイビジョンテレビ、DVDレコーダー、ワイヤレスアンプ、ファンヒーター、ブルーヒーター
鷹巣地区コミュニティ推進協議会	120万円	卓球台、掃除機、炊飯器、包丁、鍋、簡易倉庫、ブルーヒーター、トレーニング器具
白石市〈一般〉	240万円	自治会などの活動用貸出備品の整備
白石市〈青少年健全育成〉	90万円	わんぱく少年教室の開催
白川第7自治会	220万円	除雪機、ガスコンロ、大鍋、宮太鼓の修繕、綿菓子機、ポップコーン機、流し台、ファンヒーター、座卓、ホワイトボード

今年度は、右の表のとおり市全体で11団体が該当しました。この事業は毎年2回の募集があり、本募集が10月ごろ、追加募集は5月ごろとなります。健全なコミュニティ活動を推進する自治会などが対象となりますので、申請される場合は当課へご相談ください。

12月号では、亘理町自治会と東益岡青年会、そして白石市(青少年健全育成事業)をご紹介します。

亘理町自治会 自治会のシンボルの山車

毎年行われる市民春まつりに、伝統ある山車を繰り出し参加していますが、近年痛みが目立ってきたため、今回の助成事業を受けて大規模な改修とお色直しを行いました。また、山車につける垂れ幕やちょうちん、子ども用のはんでんも新調しました。完成後にお披露目式を行い、昔日の姿を取り戻した山車の上に子どもたちが並び、地区民から大きな拍手が送られました。当自治会はそれほど大きな地区ではなく、子どもの数が減ってきていますが、伝統があり結束力が強く、良好なコミュニティを形成しています。

生まれ変わった山車は自治会のシンボルとして、これからも末永く地区民の求心力になることと思います。



ピカピカの山車の前であふれる皆さん

東益岡青年会 地区内の和を広げる太鼓

地区の青年会が中心となって、毎年行われる市民春まつりに参加しており、毎年その時期になると、地区の子どもたちを集め毎晩練習を重ねています。

太鼓の講師は、かつて春まつりで太鼓をたたいていた青年会のメンバーや、つい最近まで太鼓をたたいていた中学生、高校生たちです。この練習こそが、当地区の老若男女の貴重な交流の場になっています。

今回の助成事業により、数十年ぶりに、大太鼓と小太鼓を修理することができました。素晴らしい太鼓の響きとともに、地区内の和もますます広がることでしょう。



▲毎年行われている太鼓の練習風景

白石市 わんぱく少年教室の開催

恒例のわんぱく少年教室が、今年も市内全域から27名のわんぱくたちを迎えて開催されました。

今回の助成事業を受けて、ジュニアリーダーと一緒にゲームをしたり、福島県相馬市でのキャンプでは海水浴やカヌーの体験のほか、親子で一緒に陶芸に挑戦するなど、全7回にわたって盛りだくさんの教室でした。そんな楽しかった教室も今月で閉講となります。

参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました。



◀親子で陶芸に挑戦！



相馬市でのキャンプでカヌーを体験！